

「Freeeフリー」

1 課題 Problem

- ・ 会計知識がない
- ・ 手作業が大変
- ・ 経営状況の把握が遅れる

4 解決策 Solution

- ・ 自動仕訳機能
- ・ レポート機能
- ・ 申告書作成サポート
- ・ クラウド連携

3 独自の価値提案 Unique Value Proposition

- 「手間を省き、経営の見える化を実現するツール」
- ・ 簿記知識ゼロでも使えるクラウド会計ソフト
- ・ 銀行やクレジットカードと自動連携し、入力作業を大幅削減
- ・ スマホからでも操作可能で、いつでも経営状況を確認できる

9 圧倒的優位性 Unfair Advantage

- ・ 会計士・税理士とのネットワーク
- ・ ユーザー数の多さ
- ・ ブランド認知

2 顧客セグメント Customer Segments

- ・ 確定申告や経費管理を簡単にしたい人
- ・ 会計担当者がいない、または経理の負担を減らしたい会社
- ・ 案件ごとの収入管理や請求書発行を効率化したい人

8 主要指標 Key Metrics

- ・ 新規登録ユーザー数
- ・ 有料プランへの転換率
- ・ 顧客維持率(継続率)
- ・ 1ユーザーあたりの平均収益(ARPU)

5 チャンネル Channels

- ・ 公式Webサイト
- ・ 広告・SNS
- ・ パートナー
- ・ セミナー・ウェビナー

7 コスト構造 Cost Structure

- ・ システム開発・保守費用:クラウド基盤や機能開発のコスト
- ・ マーケティング費用:広告、セミナー、営業
- ・ サポート人件費:導入支援やカスタマーサポート

6 収益の流れ Revenue Streams

- ・ 月額・年額課金でソフト利用料を徴収
- ・ プランによって、利用可能機能やサポート内容を分ける
- ・ 法人向けにはユーザー数に応じた課金もあり